

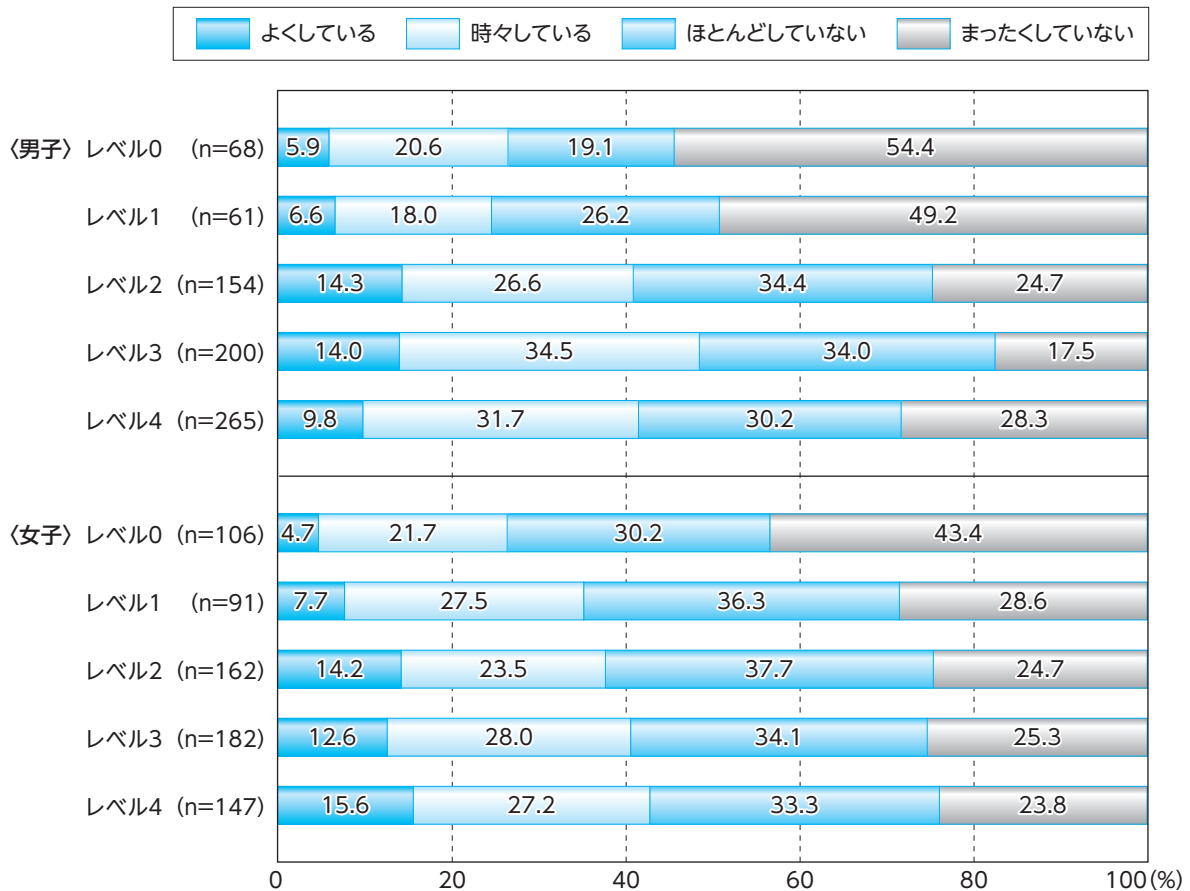
10 家族と運動・スポーツ

10-1 子どもと保護者の運動・スポーツ実施状況

10代の回答者と、その保護者自身（父母）の運動・スポーツ実施状況との関連をみた。

図10-1には子どもの性別・運動・スポーツ実施レベル別に父親の運動・スポーツ実施状況を示した。運動・スポーツを「よくしている」割合をみると、男子は「レベル2」が14.3%と最も高く、次いで「レベル3」14.0%、「レベル4」9.8%、「レベル1」6.6%、「レベル0」5.9%であった。

「よくしている」と「時々している」を合わせ、運動・スポーツを『している』割合をみると「レベル0」26.5%、「レベル1」24.6%、「レベル2」40.9%、「レベル3」48.5%、「レベル4」41.5%であった。「レベル2」以上では運動・スポーツを実施している父親は4割を超えるが、週1回未満の「レベル1」、非実施の「レベル0」では25%程度にとどまり、運動・スポーツを普段まったくしていない父親が半数を占めている。



【図10-1】子どもの運動・スポーツ実施レベルと父親の運動・スポーツ実施状況(子どもの性別)

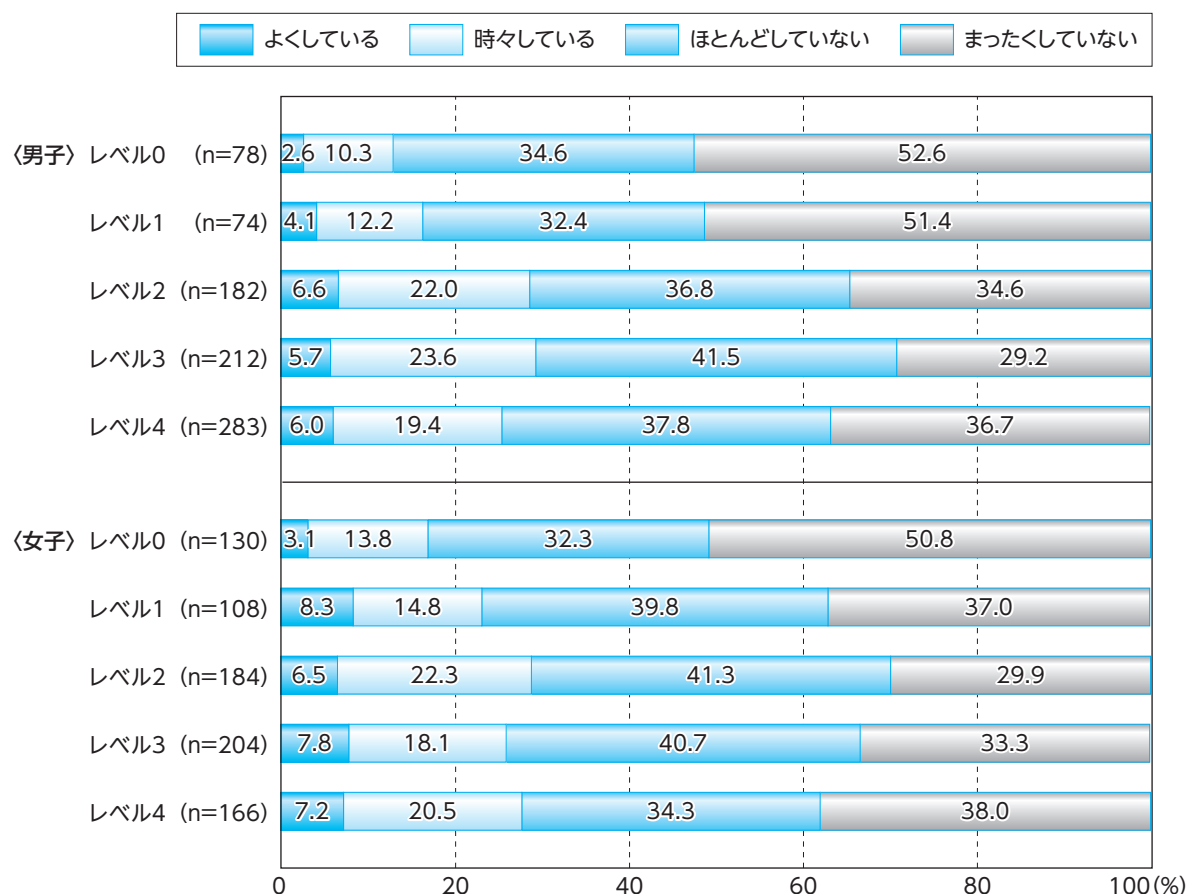
資料：笹川スポーツ財団「10代のスポーツライフに関する調査」2015

女子では、運動・スポーツを「よくしている」割合は「レベル4」が15.6%と最も高く、次いで「レベル2」14.2%、「レベル3」12.6%、「レベル1」7.7%、「レベル0」4.7%であった。父親が運動・スポーツを『している』割合をみると「レベル0」26.4%、「レベル1」35.2%、「レベル2」37.7%、「レベル3」40.6%、「レベル4」42.8%と、子どもの運動・スポーツ実施レベルが高くなるにつれて、父親の運動・スポーツの実施率も高くなっている。

次に、図10-2に子どもの性別・運動・スポーツ実施レベル別に母親の運動・スポーツ実施状況を示した。運動・スポーツを「よくしている」割合をみると、男女ともに1割未満であり、いずれのレベルにおいても大きな違いはみられない。

「よくしている」と「時々している」を合わせ、運動・スポーツを『している』割合をみると、男子では「レベル3」が29.3%と最も高く、次いで「レベル2」28.6%、「レベル4」25.4%、「レベル1」16.3%、「レベル0」12.9%であった。

女子では「レベル2」28.8%が最も高く、次いで「レベル4」27.7%、「レベル3」25.9%、「レベル1」23.1%、「レベル0」16.9%であり、男女ともに運動・スポーツをまったくしない場合、母親の運動・スポーツ実施率も低い状況がうかがえる。「まったくしていない」と回答した割合は、男子では「レベル1」「レベル0」、女子では「レベル0」で半数を占めている。



【図10-2】子どもの運動・スポーツ実施レベルと母親の運動・スポーツ実施状況(子どもの性別)

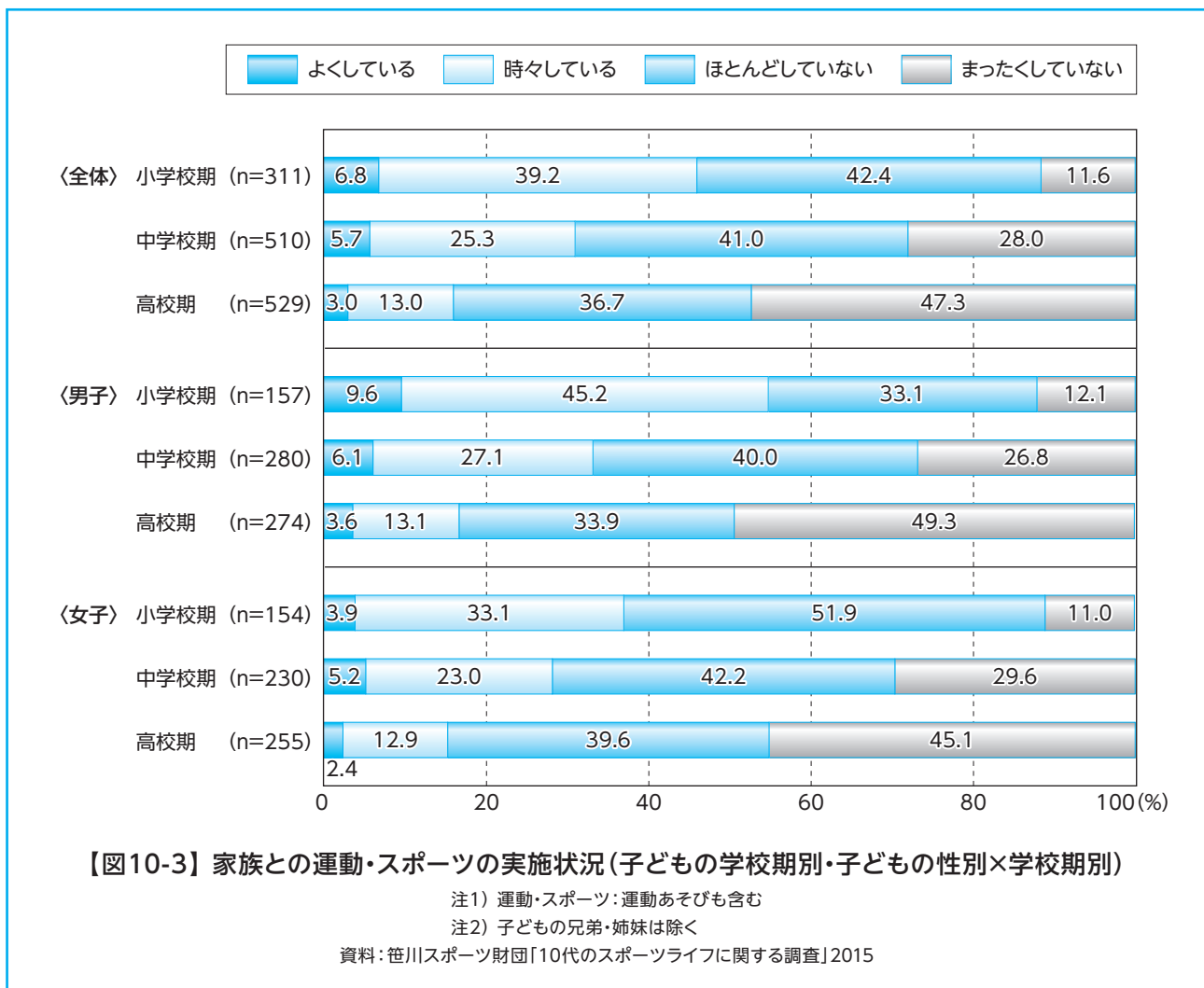
資料：笹川スポーツ財団「10代のスポーツライフに関する調査」2015

10-2 家族との運動・スポーツ実施状況

図10-3に家族との運動・スポーツの実施状況を子どもの学校期別、性別・学校期別に示した。家族との運動・スポーツの実施状況として、10代の回答者の保護者に対し「あなたご自身を含め、ご家族は普段、調査をお願いしたお子様と運動・スポーツ・運動あそびをしていますか」とたずね、「よくしている」「時々している」「ほとんどしていない」「まったくしていない」の4段階で回答を求めた。

子どもの学校期別にみると「よくしている」と「時々している」を合わせた割合は、小学校期46.0%、中学校期31.0%、高校期16.0%であり、子どもの学年が上がるにつれて、家族が子どもと運動・スポーツ・運動あそびを行う割合は低くなる。

子どもの性別・学校期別にみると「よくしている」と「時々している」を合わせた割合は、男子では小学校期54.8%、中学校期33.2%、高校期16.7%であった。女子では、小学校期37.0%、中学校期28.2%、高校期15.3%と、男女ともに子どもの学年が上がるにつれて、家族が子どもと運動・スポーツ・運動あそびを行う割合は低くなる。また、男女の「よくしている」と「時々している」を合わせた割合を比較すると、いずれの学校期でも男子が女子より高く、小学校期では17.8ポイントの差がみられた。



10-3 子どもの運動・スポーツ活動に対する保護者の関わり

10代の回答者の保護者に対し「あなたご自身を含め、ご家族は調査をお願いしたお子様の運動・スポーツの試合や練習をみにいきますか」とたずね、「よく行く」「時々行く」「ほとんど行かない」「まったく行かない」「試合や練習はない」の5段階で回答を求めた。

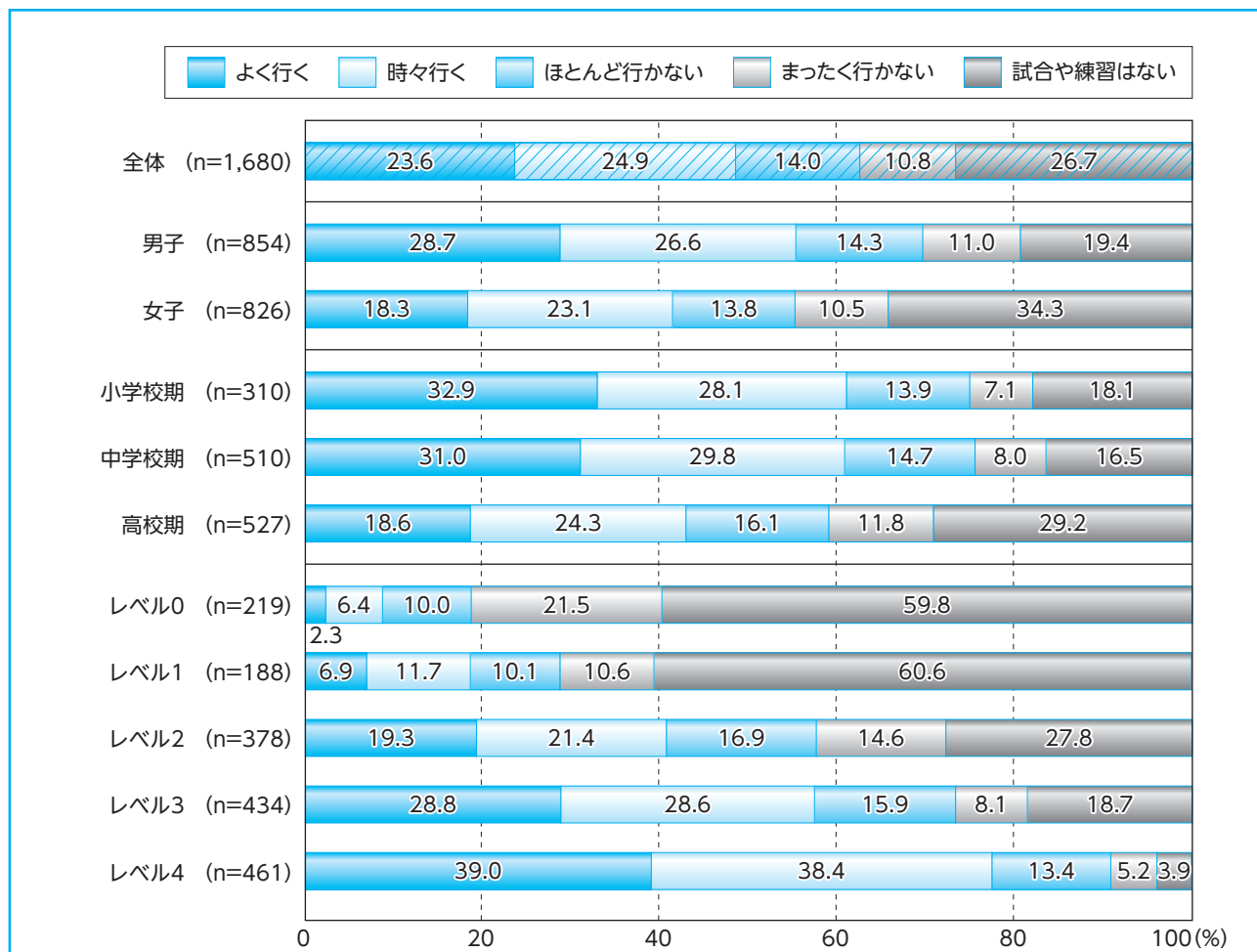
全体をみると「よく行く」23.6%、「時々行く」24.9%、「ほとんど行かない」14.0%、「まったく行かない」10.8%、「試合や練習はない」26.7%であった(図10-4)。「よく行く」と「時々行く」を合わせた割合は48.5%であり、子どもの運動・スポーツの試合や練習をみに行く保護者は半数を占める。

子どもの性別にみると「よく行く」と「時々行く」を合わせた割合は、男子55.3%、女子41.4%と、男子が女子を13.9ポイント上回る。女子に比べて男子の保護者のほう

が、子どもの運動・スポーツの試合や練習に関わる機会が多い様子うかがえる。

子どもの学校期別にみると「よく行く」と「時々行く」を合わせた割合は、小学校期61.0%、中学校期60.8%、高校期42.9%であり、学年進行にともなって子どものスポーツの試合や練習をみに行く保護者の割合は低くなる。

子どもの運動・スポーツ実施レベル別にみると「よく行く」と「時々行く」を合わせた割合は「レベル0」8.7%、「レベル1」18.6%、「レベル2」40.7%、「レベル3」57.4%、「レベル4」77.4%であり、子どもの運動・スポーツ実施レベルが高いほど、保護者が子どもの運動・スポーツの試合や練習をみに行く割合も高い。特に高水準での運動・スポーツ実施者である「レベル4」では、保護者の8割近くが子どもの運動・スポーツの試合や練習に関わっている。



【図10-4】子どもの運動・スポーツの試合や練習をみに行くか
(全体・子どもの性別・子どもの学校期別・子どもの運動・スポーツ実施レベル別)

資料：笹川スポーツ財団「10代のスポーツライフに関する調査」2015

10-4 保護者のスポーツボランティア実施状況

10代の回答者の保護者に対し、過去1年間における自身や子どもが所属するスポーツ団体やクラブ、地域のスポーツイベントでのボランティア実施の有無をたずねた。

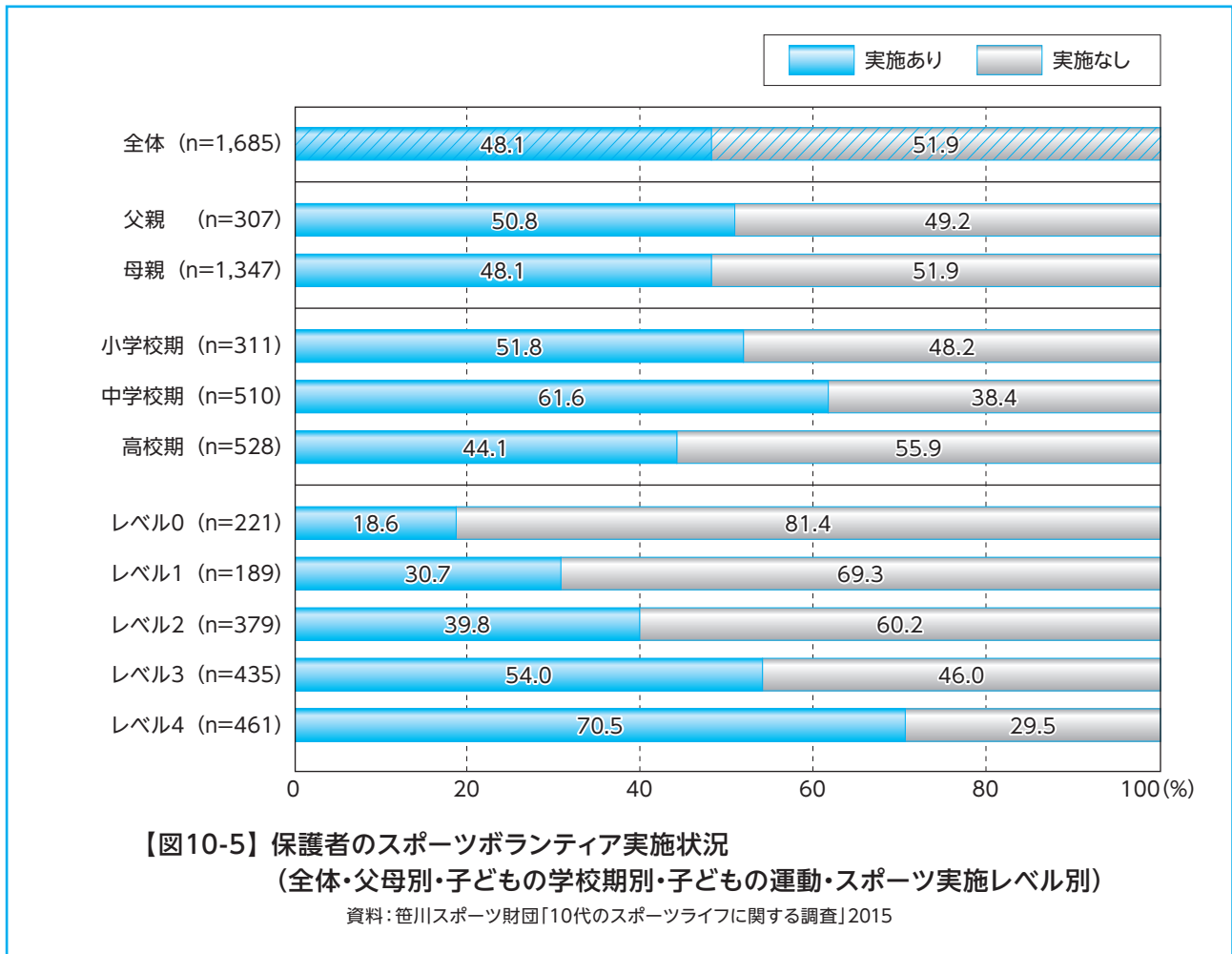
全体では「実施あり」48.1%、「実施なし」51.9%であり、過去1年間にスポーツボランティアを行った保護者は半数を占めた（図10-5）。

父母別にみると「実施あり」は父親50.8%、母親48.1%であり、父親と母親でスポーツボランティア実施率に大きな差はみられなかった。

子どもの学校期別にみると「実施あり」は中学校期が

61.6%と最も高く、次いで小学校期51.8%、高校期44.1%であった。小学校期から中学校期にかけて、保護者のスポーツボランティアの実施率は半数から6割程度と高くなる。

子どもの運動・スポーツ実施レベル別にみると「実施あり」は「レベル0」18.6%、「レベル1」30.7%、「レベル2」39.8%、「レベル3」54.0%、「レベル4」70.5%であり、子どもの運動・スポーツ活動が高頻度・高水準になるほど、保護者のスポーツボランティア実施率も高くなる。



10-5 保護者の直接スポーツ観戦状況

10代の回答者の保護者に対し「過去1年間に直接スタジアムや体育館などに行ってスポーツの観戦をしたことがありますか」とたずねたところ、「観戦したことがある」と回答した者は33.0%であった（図10-6）。

父母別に直接スポーツ観戦率をみると、父親が44.8%、母親が30.5%であり、父親が母親を14.3ポイント上回る。

子どもの学校期別にみると、小学校期30.0%、中学校期36.0%、高校期32.8%、大学期35.6%、勤労者

25.6%であり、学校期での違いはあまりみられない。

図10-7に父母の直接スポーツ観戦率を子どもの運動・スポーツ実施レベル別に示した。父親・母親ともに「レベル4」の観戦率が最も高く(父親52.8%、母親36.9%)、

「レベル0」が最も低い(父親24.2%、母親20.0%)。運動・スポーツをしている子どもほど、その父親・母親がスポーツ観戦をしている割合も高い状況がうかがえる。

